

(((ゲートウェイの設定例HAMSTIR DX用)))

HAMSTIR DXの場合、サウンドデバイスを内蔵していることから、HAMSTIR STより「音無し」が発生しやすいようなので、設定の参考例を書きます。HAMSTIR STにおいても、設定項目は類似しているので参考になります。

手持ちの Lenovoの“S206”(ノートPC)と“ThinkCentre M73”(ミニタワー)の設定例です。ただ、ハード回路の構成は各社バラバラなので、マイク内蔵有無や、デバイスの“有効/無効”などで設定は変わります。Windows7以降は設定できなかったPCはありません。
* Echolinkの[RX Ctrl]画面で、設定時のみ“Serial CTSではなく”VOX”にすると レベルメータが表示されるので、TestServerを使わずにできます。音が通ってから“Serial CTS”にします。
* 設定の「既定・・・」を変更した場合は、場合によっては、プログラムの再起動が必要かも。
* 設定の音量はPCにより変わるので特に参考値です。

Lenovo S206 ゲートウェイ検査用各種設定「WX-DX」

I/F接続USB端子 :

- <左> HRI-200 =COM5 (HRI-200 Communication Device)
- <右> HAMSTIR DX =COM3 (USB Serial Port)

サウンドデバイス再生 :

- ・ スピーカ [USB PnP Sound Device] =>既定のデバイス
<プロパティ>
[全般] : “このデバイスを使用する(有効)”
[レベル] : スピーカ“70”、マイク“0 Mute”
[Enhancement] : [レ] Disable all enhancement
[詳細] : [] 全部チェックをはずす
[立体音響] : “なし”
- ・ スピーカ [HRI-200 A(CH1) USB Audio Codec] =>既定の通信デバイス
<プロパティ>
[全般] : “このデバイスを使用する(有効)”
[レベル] : スピーカ“90”、マイク“0 Mute”
[Enhancement] : [レ] Disable all enhancement
[詳細] : [] 全部チェックをはずす
[立体音響] : “なし”
- ・ スピーカ [ConexantSmartAudio HD] =>準備完了
- ・ AMD HDMI Output =>無効で接続されてない

サウンドデバイス録音 :

- ・ マイク [USB PnP Sound Device] =>既定のデバイス
<プロパティ>
[全般] : “このデバイスを使用する(有効)”
[聴く] : [] チェックをはずす
[カスタム] : [レ] AGC
[レベル] : “90”
[詳細] : [] チェックをはずす(1ch, 16bit, 44100Hz)
- ・ マイク [HRI-200 A(CH1) USB Audio Codec] =>既定の通信デバイス
<プロパティ>
[全般] : “このデバイスを使用する(有効)”
[聴く] : [] チェックをはずす
[レベル] : “90”
[詳細] : [] チェックをはずす(1ch, 16bit, 44100Hz)
- ・ ステレオミキサー [ConexantSmartAudio HD] =>準備完了
- ・ マイク [ConexantSmartAudio HD] =>準備完了 メータが音声で触れる

Echolink設定

- ・ [Tools] =>[Setup] =>[Audio]
Input Device : [system default]
Output Device : [system default]
- ・ [Tools] =>[SysopSetting] =>[Rx Ctrl] 設定時“VOX”
設定後“Serial CTS”+[レ] Invert Sense, COM3

WIRES-X設定

- ・この画面では特別な設定はないが、Echolinkの IDのレベルに近づける為、WIRES-Xの ID音量も"100"にするのがよい。
-

Lenovo ThinkCentre M73 ゲートウェイ検査用各種設定「WX-DX」

I/F接続USB端子：

- <フロント左> HRI-200 =COM3 (HRI-200 Communication Device)
- <フロント右> HAMSTIR DX =COM4 (USB Serial Port)

サウンドデバイス再生：

- ・スピーカ[2-USB PnP Sound Device] =>既定のデバイス
 - <プロパティ>
 - [全般]：“このデバイスを使用する(有効)”
 - [レベル]：スピーカ“95”、マイク“0 Mute”
 - [Enhancement]：[レ] Disable all enhancement
 - [詳細]：[] 全部チェックをはずす
 - [立体音響]：“なし”
- ・スピーカ[HRI-200 A(CH1) USB Audio Codec] =>既定の通信デバイス
 - <プロパティ>
 - [全般]：“このデバイスを使用する(有効)”
 - [レベル]：スピーカ“95”、マイク“0 Mute”
 - [Enhancement]：[レ] Disable all enhancement
 - [詳細]：[] 全部チェックをはずす
 - [立体音響]：“なし”
- ・スピーカ[Realtek High Definition Audio] =>準備完了

サウンドデバイス録音：

- ・マイク[2-USB PnP Sound Device] =>既定のデバイス
 - <プロパティ>
 - [全般]：“このデバイスを使用する(有効)”
 - [聴く]：[] チェックをはずす
 - [カスタム]：[レ] AGC
 - [レベル]：“80”
 - [詳細]：[] チェックをはずす(1ch, 16bit, 44100Hz)
 - ・マイク[HRI-200 A(CH1) USB Audio Codec] =>既定の通信デバイス
 - <プロパティ>
 - [全般]：“このデバイスを使用する(有効)”
 - [聴く]：[] チェックをはずす
 - [レベル]：“90”
 - [詳細]：[] チェックをはずす(1ch, 16bit, 44100Hz)
 - ・ライン入力[Realtek High Definition Audio] =>接続されていません。
 - ・Microphone[Realtek High Definition Audio] =>接続されていません。
-

Echolink設定

- ・[Tools] =>[Setup] =>[Audio]
 - Input Device：[マイク(2-USB PnP Sound Device)]
 - Output Device：[system default]
 - ・[Tools] =>[SysopSetting] =>[Rx Ctrl] 設定時“VOX”
設定後“Serial CTS”+[レ] Invert Sense, COM4
-

WIRES-X設定

- ・この画面では特別な設定はないが、Echolinkの IDのレベルに近づける為、WIRES-Xの ID音量も"100"にするのがよい。
-